



Oracle Enterprise Manager インストール・ガイド

リリース 1.6.0

1998 年 10 月

部品番号 A62024-1

このマニュアルでは、Oracle Enterprise Manager とインテリジェント・エージェントの導入方法について説明します。

Oracle Enterprise Manager を 導入する前に

Oracle Enterprise Manager(Management Pack)を導入する前には、次のものを通読してください。

1. 「Oracle Enterprise Manager 日本語リリースノート R1.6.0」
2. 「Oracle Enterprise Manager 構成ガイド リリース 1.6」

「リリースノート」は Oracle Enterprise Manager リリース 1.6.0 のパッケージに同梱されております。また、「構成ガイド」は Oracle8 Server Enterprise Edition に同梱されております

ハードウェア要件の確認

Oracle Enterprise Manager には、次のハードウェアが必要です。

- 1 Intel Pentium 以上の CPU を備えた PC
- 1 SVGA ビデオ
- 1 48MB 以上の RAM (64MB 推奨)
- 1 CD-ROM ドライブ
- 1 Windows NT 互換のネットワーク・アダプタ
- 1 プログラムファイル用として 50MB のハードディスクの空き領域

注意: Oracle Enterprise Manager とそのコンポーネントでサポートしている Oracle Server のリリースとオペレーティング・システムの詳細は、「Oracle Enterprise Manager Readme」の「互換性の問題」の項を参照してください。

ソフトウェア要件の確認

Oracle Enterprise Manager には次のソフトウェアが必要です。

- 1 Microsoft Windows NT バージョン 4.0 および サービス・パック 3
- 1 TCP/IP サービス

注意: Oracle Enterprise Manager を利用する PC においては Microsoft Windows のコントロール・パネル内の画面の設定で必ず、画面のフォントサイズとして「小さいフォント」を指定するようにしてください。「大きなフォント」の設定のまま、Oracle Enterprise Manager を利用された場合には画面レイアウト上の関係から一部の操作に支障がでてくる恐れがあります。

また、既に導入を行う PC に古いバージョンの Oracle Enterprise Manager が導入されている場合には、導入を行うにあたって Oracle Installer を用いて古い Oracle Enterprise Manager を削除することをお勧めします。

Oracle Enterprise Manager の インストール

Oracle Enterprise Manager(Management Pack)をインストールするには、次のようにします。

1. Windows NT4.0 を起動します。
2. 管理者グループのメンバーとして PC にログオンします。
Oracle のサービスを実行している場合は、すべて停止します。
3. Oracle のサービスを停止するには、Windows の「コントロール パネル」をオープンし、「サービス」アイコンを選択します。「開始」状態の Oracle サービスがあれば、そのサービスを選択して、「停止」を選択します。
4. CD-ROM ドライブに Oracle Enterprise Manager の CD-ROM を挿入します。
5. CD-ROM を挿入すると Oracle Installer 実行プログラム(SETUP.EXE)が自動的に起動されます。Oracle Installer が自動的に起動されない場合には、次の方法で Oracle Installer を起動してください。

Oracle Installer を起動します。

- a. 「マイ コンピュータ」をオープンします。
- b. CD-ROM が接続されているドライブを選択します。
- c. 「インストールを開始」を選択します。

「Oracle インストール設定」ダイアログ・ボックスが表示されます。

1. Oracle Installer が起動した後、「Oracle インストール設定」ダイアログ・ボックスで言語を 1 つ 選択するか、「OK」を選択してデフォルトの言語「Japanese」を確定します。また、会社名と Oracle ホームの場所も尋ねてきますので、入力し、「OK」をクリックしてください。「Software Asset Manager」画面が表示されます。
2. インストールする製品を選択し、「インストール」を選択します。
3. 選択したインストールする製品に応じて表示されるダイアログ・ボックスに対して、適切な応答をします。
4. インストールが完了したら、「終了」を選択します。

Oracle Enterprise Manager とそのコンポーネントの起動と構成の詳細は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

Oracle インテリジェント・エージェントのインストール

インテリジェント・エージェントは Windows NT および UNIX プラットフォームで利用できます。これは、データベースに付属しており、管理されている側のリモートのマシンにインストールされます。Oracle インテリジェント・エージェントをインストールするには、次のようにします。

1. Oracle Installer を起動します。
2. 「Software Asset Manager」画面で、「インテリジェント・エージェント 8.0.3」を選択します。

次の製品は、インテリジェント・エージェントに依存します。

- 1 Net8 8.0.3
 - 1 TCP/IP アダプタ 8.0.3
 - 1 Required Support File 8.0.3
3. Oracle ホーム・ディレクトリを選択します。
 4. 「インストール」ボタンをクリックします。

Oracle Enterprise Manager とそのコンポーネントの起動と構成の詳細は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

Oracle 製品の削除

Oracle 製品を削除するには、次のようにします。

1. すべての Oracle サービスを停止します。
2. Oracle Installer を起動します。
3. 「Software Asset Manager」画面の「インストール済みの製品」ウィンドウから、削除する製品を選択します。
4. 「削除」をクリックします。

Oracle Installer では、特定の製品が削除されると、それに依存する製品に問題が発生する場合は警告され、削除するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

追加情報: Oracle Enterprise Manager または Oracle Enterprise Manager Management Pack を削除する場合、データベースから古いリポジトリを削除したければ、リポジトリを手動で削除することができます。詳細は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。